



性暴力と報道

#Me Too から #We Too へ

「#Me Too（私も）」と性暴力被害を声に出し始めた多くの女性たちがいます。しかし被害への理解が少ない社会では、被害者がやっと声をあげても二次被害を受けることも少なくありません。

その背景に、性暴力被害を被害として取り上げない、あるいは何らかの圧力を受けて事実を発信できない「報道」により、正しい情報を多くの人が得られないことがあるのではないかでしょうか。

そこで今回、元新聞記者として、現在は弁護士として多くの性暴力被害の実情を知る講師から性暴力の現状や課題を学び、さらに報道のあるべき姿を考え、性暴力を「# We Too（私たちの問題）」として捉えることができる社会へつなげていく一歩としたいと思います。

講師：上谷さくら さん

犯罪被害者支援弁護士フォーラム事務次長。第一東京弁護士会犯罪被害者に関する委員会委員。青山学院大学法科大学院実務家教員。福岡県出身。青山学院大学法学部卒。

毎日新聞記者を経て、平成19年弁護士登録。保護司。

11月24日（土）10：00～12：00

会場：クローバープラザ 東棟5階 508A 研修室

（福岡県春日市原町3丁目1-7 電話 092-584-1212）

参加無料：関心のある方はどなたでもご参加ください（先着50名）

託児：「あすばる」（電話 092-584-1261）に要予約

11月2日(金) 締め切り 先着20名（300円）6ヶ月～就学前

主催：特定非営利活動法人 博多ウィメンズカウンセリング

お問い合わせ 電 話：092-210-0058（10時～17時）

E-mail：hwc21kouza@yahoo.co.jp

U R L：<http://www.npo-hwc.com>

